

◆ 参加料 (税込み)

日本プラントメンテナンス協会正会員	3,150 円/1 名 (本体 3,000 円、消費税 150 円)
上記以外	5,250 円/1 名 (本体 5,000 円、消費税 250 円)

*参加料には、資料代が含まれています

◆ 参加申込み方法・参加料支払い方法

- ・下記申込書に必要事項を記入のうえ、ファクシミリにて送付ください。電話での申込みは受け付けておりません
- ・開催直前に申込みの方には、参加証をお送りできないことがあります。その場合は申込み時に電話で確認のうえ、ご来場ください
- ・開催の約 2 週間前より、参加派遣窓口様宛に参加証・会場案内と請求書を送付いたしますので、請求書が届き次第、小会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。また、お支払いは原則として開催前日まで にお願いたします

◆ 会場案内

- 株式会社東北佐竹製作所
(岩手県北上市川岸 1-16-1 「JR 北上駅」徒歩約 10 分)
- *会場地図を請求書・参加証に同封します
 - *公共交通機関・お車での来場が可能です

お申込みはファックスで 0120-451-467

◆ お断り・お断り

- 録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします。参加予定の方が当日参加できない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください(キャンセルはファクシミリでのみ受け付けます)
- ・開催当日および前日の参加取消し…参加料全額
(参加料入金済の場合、返金いたしません)
 - ・開催の 2 日前～7 日前の参加取消し…参加料の 30%
(参加料入金済の場合、70%を返金いたします)
*いずれも土日曜・祝祭日を含みません

◆ 参加申込み・問い合わせ先

社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部
〒108-0074 東京都港区高輪 3-26-33 品川ビル 8 階
Tel.03-6409-2700 Fax.03-6409-2710

◆ 免責事項

天変地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により、発表会の内容変更・中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます

現場力が東北モノづくりの未来を担う

がんばろう東北！ 東北地区モノづくり改善事例発表会

甚大な被害をもたらした東日本大震災から、約半年が過ぎようとしています。当会東北支部でも「がんばろう東北！」を掲げて東北地区の復興を応援しております。今回は、その一環として、「がんばろう東北！東北地区モノづくり改善事例発表会」と題して、製造現場の改善事例発表会を開催させていただくことになりました。

本発表会では、生産現場のさまざまな問題点や課題をいかにくふう・改善して、故障・不良削減・生産性向上などに大きな成果をあげた具体的な取組みを、ご発表いただきます。各社の改善活動の取組み・苦勞・成果を知ることが、みなさまの日々の活動のヒントになると考えております。

また、特別講演として「関東自動車工業(株) からくり改善活動の取組みについて」と題し、「お金をかけずに知恵を出す」、同社のからくり改善への取組みをご紹介します。

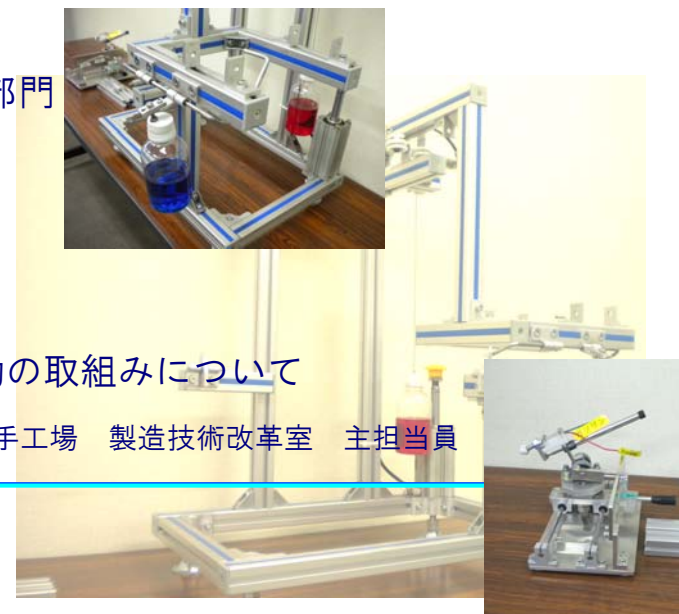
ぜひ貴社の“現場力”育成のために、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

*参考：からくり改善くふう展→<http://www.jipm-topics.com/karakuri/>

FS4102 がんばろう東北！ 東北地区モノづくり改善事例発表会		開催日 2011 年 11 月 9 日 (水)		
参加申込み書	日本プラントメンテナンス協会 正会員	3,150 円/1 名 × () 名	合計 _____ 円	
	上記以外	5,250 円/1 名 × () 名		
	ふりがな		ふりがな	
	会社名		事業場名	
	ふりがな		所属・役職	
	参加派遣窓口 担当者名			
	所在地	〒		
	電 話		ファックス	
	E-MAIL	@		
	参加者	ふりがな	JIPMへの連絡・希望事項 など	
氏名				
ふりがな		開催後のお支払いとなる場合は記入してください		
氏名		お支払い予定日	月	日
ふりがな		受 付	請求登録	発送
氏名				

- 発表企業 (社名 50 音順)
アイメタルテクノロジー・北上生産部門
東北佐竹製作所
ミクニ・盛岡事業所
YKK AP・東北事業所

- 特別講演
関東自動車工業(株) からくり改善活動の取組みについて
川邊 慎二 関東自動車工業 岩手工場 製造技術改革室 担当員



開催日 : 2011 年 11 月 9 日 (水) 13:00~16:30
会 場 : 株式会社東北佐竹製作所
(岩手県北上市川岸 1-16-1 「JR 北上駅」徒歩約 10 分)
主 催 : 社団法人日本プラントメンテナンス協会

「TPM」「からくり改善」は、(社)日本プラントメンテナンス協会の登録商標です

プログラム

<2011年11月9日(水) 13:00～16:30 株式会社東北佐竹製作所>

*発表プログラムは若干変更される場合があります

13:00～13:05	開会あいさつ	
13:05～13:25	「プレス、プロテクタ回路圧異常による故障の削減」 川下 昭夫 株式会社東北佐竹製作所	当社のプレスでプロテクタ油圧が低下する故障が発生していた。そこで、故障の原因を調査し、対策を実施した。その結果、故障をゼロにすることができた事例を発表する。
13:25～13:45	「鋼板ハンドリング装置 チョコ停(落下不良)の削減」 佐々木 富義 茂木 健二 YKK AP株式会社 東北事業所	当事業場のTPM活動において私達のサークルでは、現場現物主義をモットーにロスゼロを達成することを目標とした。今回は、各委員会の協力を得ながら活動を進め、チョコ停ゼロを達成した事例を発表する。
13:45～14:05	「铸造ライン終了時の空枠送り廃止」 金野 秀明 株式会社アイメタルテクノロジー 北上生産部門 北上南工場	当工場の铸造ラインでは、ライン終了時の型残枠に砂喰いと言われる不良が多いことから、次番の稼働時に不良が発生しないよう、ライン終了時に必ず27枠の空枠送りを実施していた。今回はそのロスを撲滅するため、空運転の改善に取り組んだ事例を発表する。 *「空枠送り」とは：生産をしないで設備を稼働させること
14:05～14:25	「ヒータ溶接工程のやりにくさ改善」 工藤 英克 株式会社ミクニ 生産本部 第2製造部	当事業所の要素技術の1つでもある「板金溶接技術」について、改善をおこなった。板金溶接で発生してしまう「歪」について「作業のやりにくさ改善のテーマ」として、サークル全員で改善を実施した。試行錯誤のうえ、「歪」を最小限に抑えることに成功した事例を発表する。
14:25～14:40	休憩	
14:40～15:00	「乾燥機 MEZ/LEZ 作業工数の削減」 小原 善夫 株式会社東北佐竹製作所	乾燥機 MEZ/LEZ の生産において、タクトオーバーの工程があったため、班長または RM が補助していた。この工程の作業を分解し、他の工程に振り分け、タクト内のバランスを修正した。その結果、オーバー時間が 2.63H/台からゼロになった事例を発表する。
15:00～15:20	「引戸部品付けロボット チョコ停の削減」 鎌田 典之 田村 雅春 YKK AP株式会社 東北事業所	当事業所では「災害ゼロ・不良ゼロ・故障ゼロ」を目的とし、2009年度にキックオフをした。1人ひとりの TPM 活動に対する意識の向上を活動のねらいとし、第1回目のテーマを「チョコ停削減」とした。今回は約 200 件/月のチョコ停回数を、全員参加で取り組んだ結果、20件まで削減することができた事例を発表する。
15:20～15:40	「小ロット化に負けない中子出来高」 八重樫 真弥 株式会社アイメタルテクノロジー 北上生産部門 北上北工場	当工場の中子工程では、生産体制の変更による金型の交換回数増加、それに伴う立ち上がりロスの増加という問題があり、結果として中子の生産出来高が低迷していた。今回は、このロスの低減に取り組んだ事例を発表する。
15:40～15:50	休憩	
15:50～16:20	<特別講演> 関東自動車工業(株) からくり改善活動の取り組みについて 関東自動車工業株式会社 岩手工場 製造技術改革室 主担当員 川邊 慎二	
16:20～16:30	閉会あいさつ	

当社では、「グローバルコンパクト車世界 No.1 工場」を目指し、工場職制の枠を超え、各部課長が中心となり、工長級のメンバーとともにシヨツパを横串にしたローキング活動を行っている。
このローキング活動では、現場作業員1人ひとり、自分の作業を見つめ直し、やりにくい作業やもっと効率が上げられないかを常に考えている。今回は「お金をかけずに知恵を出す」からくり改善を通し、人財育成の場として有効に活用している取組みを紹介する。